

# 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた円滑な港湾物流の確保のための連絡協議会 議事概要

日時：令和元年8月8日（木）14:00～14:50

場所：経済産業省別館 227 各省庁共用会議室

## <意見交換された内容>

### ○関係団体への情報提供について

- ・大会時の円滑な物流確保に向けては、荷主や関係事業者の協力の下、大会時の貨物抑制、並びに搬出入時間やルートの変更等の対応を実施してもらうことが重要。
- ・大会に向けた交通対策の実施について、今後も国と東京都が連携して、荷主、船会社、港湾運送事業者、トラック事業者、倉庫事業者等多くの関係者に情報提供することが重要。

### ○コンテナターミナルのゲートオープン時間拡大のトライアル実施について

- ・東京都が実施したGWのトライアルにおいて、特に早朝のゲートオープン時間拡大が有効であったことが実証された。
- ・東京都が実施する夏のトライアルについても、ゲートオープン時間の拡大やストックヤードの実証実験などの結果を検証して、大会に向けてより良い対策を実施していく。

### ○長期蔵置貨物について

- ・コンテナターミナル貨物蔵置に係るフリータイムを適切に運用することが、コンテナターミナルの効率的運営に繋がり、車両混雑を緩和することになる。
- ・今後、国と都が連携した対応を考えていく。

### ○東京2020大会に向けた保安対策について

- ・大会に向けて、国交省が横断的にテロ対策を検討中。今後、港湾管理者である都とも協議していく。

### ○時間外労働の上限規制について

- ・労働基準法の改正による時間外労働の上限規制に対応しつつ、大会時におけるゲートオープン時間の拡大に向けた関係者調整を行っていく必要があることを確認。

### ○次回の開催について

- ・夏のトライアルの検証と今後の対策の検討、長期滞留貨物の対策等について、一旦とりまとめの上、引き続き意見交換を行う必要がある。次回開催は秋頃とし、具体的日程は今後調整する。

以上